

## 31 地域生活移行支援マニュアルについて

秩父学園 地域移行推進課 大野さち子 金森孝之 伊藤隆 滝澤剛敏

### 【はじめに】

秩父学園は、平成22年度から年齢超過者の地域生活移行を開始し、平成24年の児童福祉法改正により、年齢超過者への対応を平成30年3月迄に完了する事となった。移行を開始した平成22年度から今日まで47名の方が移行し、それと並行して、30名の児童が新しく入所しており、児童施設へ回帰しつつある。

児童施設は18歳までの児童が入所する施設である為、今後は、毎年のように秩父学園を卒園し、地域生活移行をする児童が複数名ずつ出てくることになる。その際、円滑に地域生活移行を進められるよう、これまでの地域生活移行におけるノウハウを整理し形にする必要があると考え、マニュアルを作成する事とした。

### 【マニュアルの内容】

#### ○入所～卒園後までのプロセス

入所前から卒園までの地域生活移行支援の流れを以下の5段階に分け、業務内容・留意点等を記載。

- ・入所前 — 入所相談・見学・本人面会・入所審査会・入所前カンファレンス等
- ・入所時 — 入所契約（契約の場合）・18歳卒園の確認等
- ・小学部～中学部 — 個別進路相談・連絡調整会議・施設見学・進路選択（中学3年生）等
- ・高等部 — 個別進路相談・連絡調整会議・施設見学・体験利用・障害支援区分取得等
- ・フォローアップ — 移行時にフォローアップ内容の伝達・要請があった場合の対応等

#### ○年間プログラム

地域生活移行支援に関わる年間業務を記載。

- ・保護者・ご家族向け — 個別進路相談・よろず相談会・施設見学会
- ・関係機関との協働 — 連絡調整会議・施設見学同行支援等
- ・ご本人 — 施設見学・体験利用・フォローアップ等
- ・秩父学園全体 — 個別支援計画説明・ケースカンファレンス等

### 【まとめ】

今回作成中のマニュアルは、これまで地域生活移行を進める中で培ってきたノウハウを整理し、まとめたものである。地域生活移行支援は個別性があり、全員が同様の進め方にはならないが、マニュアルがある事により、一定の流れの目安としながら地域生活移行を進めていけるのではないかとと思われる。現在、実際に移行先を探している方は、成人入所施設への移行を希望している方がほとんどである。しかし、新しく入所してくる児童には、軽度知的障害の方が増えており、今後は、生活する場所はグループホーム、日中は就労や就労継続支援の事業所等、進路の選択肢が増えてくると予測出来る。そのような場合に対応出来るよう、早い段階から移行先の情報収集を進める事が必要である。また、そのような事例を参考に、その都度マニュアルを更新していき、円滑な地域生活移行へと繋げて行きたい。